

平成25年度 第4回 硬組織疾患ゲノムセンターセミナー

硬組織疾患ゲノムセンターの連絡会議に併設して、内外の研究者をお招きしてご講演いただく「硬組織疾患ゲノムセンターセミナー」を開催しています。今年度第4回は、難治疾患研究所ゲノム病理学分野の加藤洋人先生にご講演をお願いしております。ぜひご来聴下さい。

講師： 難治疾患研究所 ゲノム病理学分野 助教
加藤 洋人 先生

日時： 平成25年9月24日（火）18時00分～18時40分

場所： MDタワー23階 共用セミナー室2

演題： がん抑制遺伝子としての FOXP3 とその転写制御メカニズム

内容： FOXP3 は制御性 T 細胞の分化と機能において重要な役割を果たすことが知られており、その **germline mutation** は重篤な自己免疫疾患を引き起す。ところが近年、制御性 T 細胞だけでなく乳管上皮細胞や前立腺上皮細胞でも FOXP3 の発現していることが明らかになった。さらに、乳がん及び前立腺がん臨床検体で FOXP3 の **somatic mutation** や発現異常が報告されるなど、FOXP3 は、上皮細胞においてがん抑制遺伝子として機能していることが強く示唆される。FOXP3 は転写因子であり、標的遺伝子のプロモーター領域に結合することで能動的にそれらの発現レベルを調節している。本セミナーでは、次世代シーケンスを用いた **ChIP-Seq** により同定された乳がん細胞における FOXP3 標的遺伝子群の全貌と、新たに明らかになった FOXP3 による転写調節メカニズムに関する研究について発表させていただきます。

連絡先：硬組織疾患ゲノム構造解析部門（分子細胞遺伝） 林 深（内線 5821）